

ふるさと 通信員だより

vol.215

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域の話題を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています（活動はボランティアでお願いしています）。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係（内線216）にご連絡ください。



社会福祉法人更葉園（矢島正人理事長）の地域密着型特別老人ホーム「こころ」に入居する小松道子さん（72）が、戦禍にあるウクライナへの支援や平和を願い、手作りしたラッコの編みぐるみ人形が園内で評判になっています。

毛糸で編んだラッコの人形は、頭部から尻尾まで60センチ、胴回りが40センチの大きさで、手にはウクライナの国旗を持ち、お腹にはフェルトで作った世界の子どもたち15人の笑顔が並んでいます。

小松さんは「収束を祈りながら作りました」と平和を願っていました。少しでも早く事態が収まってほしいですね。



たかだ てつこ
高田徹子 通信員

ウクライナへの
平和を願う



町教育委員会生涯学習課の主催による幼児家庭教育学級開級式が行われました。今年度10回の予定でさまざまな講座を実施します。この講座は、家庭でより良くお子さんを育てるための知識や技術を学ぶことが目的です。

開級式では心のサロンSmileyの佐々木祥子さんが講師を務め、「ごきげん子育て3つのコツ」と題し、参加者同士が交流できる内容で行われました。講座に参加した木野東在住の太田亜紀さん（41）は、1歳9カ月のお子さんがいます。「託児ボランティアがあるので気軽に参加できありがたいです」と話してくれました。



いしだ ひろよ
石田尚世 通信員

ママとパパの講座
開級式